

地域とともに  
140  
周年

山陽新聞創刊140周年記念  
連続シンポジウム

聴講者募集

無料  
定員300名  
<先着順>

# 令和時代の 地域をつくる

第2回 地域に根ざしたライフスタイル

日時

9/3 火  
14:00~17:00  
(受付13:30~)

場所

山陽新聞社さん太ホール  
岡山市北区柳町2-1-1

※専用駐車場はご用意しておりません。公共交通機関をご利用ください。

第1部 基調講演 わたしたちは地方で幸せを見つける

～関係人口のつくり方～

わたしたちはこれまで自分たちの豊かさや幸せを、一極集中が続く東京が生み出した尺度ではかっていたのではないのでしょうか。自然が豊かで歴史や文化を持つ地方の多様な暮らしが今、見直されています。地方には、人口増加や経済効果重視の観光化ではなく、若い世代が中心となり、全国から人が集まるまちがあります。未来への手ごたえを感じ、仲間を巻き込みながら、地元の底力を引き出す秘訣(ひけつ)はなんなのでしょう。注目すべきキーワードは「関係人口」。この「観光以上、移住未満」の第三の人口がまちにもたらす幸せな変化を各地の事例とともに紹介します。

講師 雑誌「ソコト」編集長  
指出 一正氏



第2部 パネルディスカッション 素晴らしきローカルライフ

持続可能な地域づくりはライフスタイルや消費形態と深く結びついています。基調講演を受け、地域の自然や文化を生かしたローカルライフの魅力や、これからのあり方を話し合います。

パネリスト



真庭市長  
太田 昇氏



山陽学園大地域  
マネジメント学部教授  
白井 信雄氏



森林ボランティア  
梅谷 奈々氏



雑誌「ソコト」編集長  
指出 一正氏

モデレーター  
(司会・進行)



NPO/NGOによるSDGs  
ネットワークおがやま会長  
石原 達也氏



山陽新聞社  
編集委員室長  
岡山 一郎

申込方法

はがきかFAXで、①郵便番号②住所③氏名④年齢⑤職業⑥電話番号⑦聴講人数⑧メールアドレスを明記し、下記宛先までお申し込みください。特設サイト(<https://c.sanyonews.jp/140sympo/>)からも申し込みめます。先着300名様に聴講券を発送します。

申込先

〒700-8634 山陽新聞社「140周年記念シンポジウム」係  
FAX.086-803-8185

問い合わせ先

山陽新聞社「140周年記念シンポジウム」事務局  
TEL.086-803-8077(平日午前10時~午後5時)



二次元  
コードからも  
申し込み  
できます

◎主催／山陽新聞社

◎協賛／株式会社英田エンジニアリング 山陽学園大学 中国銀行 Ryobi 両備グループ

◎後援／岡山県、TSCテレビせとうち、oniビジョン、エフエム岡山、レディオモモ